

各地保育
會の活動

三重縣中部保育會の活動狀況

三重縣中部保育會會長
三重縣津市立新町幼稚園長

鈴 木 武 治

〔一〕 千古緑の色濃き神路山の麓に鎮ります皇大神宮の所在地たる、我が聖地三重の地には、誇るべき種々のものを他にも持ち合はせてゐます。たゞ幼稚園の保育についての研究さか向上さかに對する従來の施設は、他府縣のそれに比して、如何かと思はれる節が多いのであります。尤も近時農繁託兒所の開設の漸く多きを加ふるにつれて、幼兒の保育さいふ點について、相當施設、研究せられる様になりはしましたが。

我が三重縣中部保育會にしたところで、創立こそ昭和五年八月ではあれ、皆様にその活動の狀況を麗々しく吹聴申上げる程の強心臓は持つてゐませぬ。しかし今後益々發展させたい熱意を、己を空ふして聞かんとするの眞摯さを持つてゐる私共が、その辿つて來た概略を述べて、皆様方の御參考に供するを得ば、之に過ぎる幸は無いと筆を執つたわけです。

〔二〕 動けき、愛すれき、悶へきも、毎日保育してゐるも

の、身になつて見るに、其處に空虚な、やる瀬ない、不安な焦燥があります。毎日の保育するに、それが果して、これでよいのか、より良い方法は無いのか？ さうすれば満ち足つた保姆としての責務を果すことが出来るやら？

かうした境地——求道者の心持——が、極めて自然的に、私共の三重縣中部保育會を育て上げました。丁度昭和五年の八月、發會を致しました。當時の會長は本庄光治郎氏で、津市内に隣接二ヶ町の幼稚園で九園でした。爾來會員は二十數名ですが、それこそ本當に、心こころのなつがり、「自分達の會」さいふ心持ちで茲に十有餘二年を續けて参りました。私は乏しきを會長の職に當り茲に數年、唯々會員の熱意に動かされて、その日／＼を會のために盡してゐる様な次第であります。

三重縣中部保育會々則

第一條 本會ハ三重縣中部保育會ト稱ス

第二條 本會ハ保育關係者相互ノ連絡ヲ保チ、保育上ノ研

究改善進歩ヲ期シ併セテ會員ノ親睦ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第三條 本會ハ津市並ニ其ノ附近ノ公私立幼稚園及ビ保育團體職員ヲ以テ組織ス

第四條 本會ハ左ノ事業ヲ行フ

一、會員總會(毎年四月) 一、保育上ノ研究及ビ打合

二、保育ノ實際ノ視察 一、保育ニ關スル講習會

三、會員相互ノ親睦 一、其ノ他

第五條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

一、會長 一名 二、副會長 一名

三、理事 若干名

會長ハ本會ヲ代表シテ會務ヲ總理シ、副會長ハ會長ヲ輔

佐シ會長事故アル時ハ之ヲ代理ス。理事ハ會長、副會長

ノ指揮ヲ受ケテ會務ヲ處理ス

第六條 本會役員ノ任期ハ之ヲ二箇年トシ會長ハ會員總會

ニ於テ會員中ヨリ互選スルモノトス。但シ場合ニヨリテ

ハ本會顧問中ヨリ推薦スル事ヲ得 副會長及ビ理事ハテ

員中ヨリ會長之ヲ選任ス

第七條 本會ニ顧問ヲ置ク 顧問ハ本會關係保育團體長會

推薦ス、顧問ハ會長ノ諮問ニ應ズ

第八條 本會經費ハ左記ノ收入ヲ以テ之ヲ支辨ス 而シテ

會計年度ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

一、會費 會員ハ年額金壹圓五拾錢ヲ納入スルモノトス
二、其ノ他ノ收入金

第九條 本會ノ事務所ハ會長所屬ノ團體事務所内ニ置ク

第十條 會則ハ會員三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニ非レバ改

正スルコトヲ得ズ。

これが私共の會の規約なのです。一見何れの會さ何のか
はりもありませぬ。事業の實際を書いて、その内容を明ら
かにしたいと思ひます。

(三) 先づ修養研究の方面で第一に述べたいのは保育の講
習會であります。會員數も僅か二十數名といふ現在の組織
では、なか／＼大きな講習は望めませぬ。しかし講師の先
生方も本會の内容を御理解下さつて、毎年一回の講習會に
は、斯界の權威を聘して、保育の大講習會を開き、本會々
員は申すまでもなきこと、縣下保育關係職員、近府縣の方
方まで御参加願つて、每會百數十名の受講者があります。
東京女子高等師範學校の倉橋先生、及川先生、小島先生、
には數回に亙つて御來講を辱ふしました。その他奈良女子
高等師範學校の森川先生、小林尉代先生、關惠美先生にも
毎々御厄介をおかけし、恩賜財團愛育會の講師山下俊郎先
生にも昨夏は御來講を戴きました。茲兩三年前からは、縣
の社會事業協會、縣兒童保護協會、縣教育課、津市社會課、
津市教育會から相當多額の補助を與へられる事になり苦し

い講習會の經理も大分樂にはなりました。しかし受講者本位から聴講料の極端な低減を圖するため、主催者である中部保育會の會員は、受附接待は云ふまでなく、小使傭人の仕事まで、一切人手を借らずに、會員でやる事としてゐます。かうした會員の熱誠にほだされて、毎回来講される講師先生も、親身になつて御指導戴けますので、縣内唯一の保育の講習會として、おもしろい存在になりました。

前述のものは毎年夏期に催す大講習會であります。その他に一年に一回か二回、ほんの小規模の會員のみが受講生となる實技の講習會を開きます。京都の竹川先生、縣師範の服部先生なごを招いて、粘土細工、切紙細工なごの講習を最近やつて戴きました。

〔四〕 視察見學は知見を擴め、啓發せられる所が多大な爲、つめて之を行つてゐます。毎年一回京都、名古屋、大阪、奈良方面の保育の實況を會員全部が出てゐます。これには全會員を前後の二班に分けて、半数交替で實施してゐます。會の方からは實費に近い經費の支出をします。その結果は毎月一回の集會に必ず發表しあつて切磋の資になります。随分これは有効に存じてゐます。

尙また會員が春秋二回打揃つて、近郊のハイキングに出かけます。桃咲く丘の上でのさんざめき、紅染める樹々の

下での語らひなご、子供心に歸つて、一日を愉快に暮し、會員の親睦を圖つてゐます。

こんな譯ですから私共の會は、本當に皆が自分達の會、自分のための會といふ考へが常に會員各自の腦裡に深く刻まれてゐますので、我ながら不思議な位總てがスムーズに運んで参ります。

以上は主として會員の内を深めるための諸施設でありませんが、更に外部に對しての働きかけ、資金の獲得なごについての狀況を書いて見ませう。

〔五〕 保育の實績を擧げるには、お母様方の協力を必須の條件とします。私共の會では、機會ある毎に、母性の教養の向上といふ點について、積極的に力めてゐます。毎年一回か二回園児の母姊を中心として、一般女性の参加を願つて、幼児教養保育の講習會を開いてゐます。最近には大阪ランバス女學院高森富士子教授の「幼児教育」、東京阿佐ヶ谷幼稚園高崎能樹園長の「眞人間の教育」、三田谷兒童院長三田谷啓博士の「我が子の教育」なごの講演會をはじめ、有名な中山龜太郎先生の「母性愛を語る」の講演會を開きましたが、毎回非常な盛會で、好評を博してゐます。

かうした催をするについても、前掲の視察や講習會をするに就いても、相當の經費を要し、それは會則にある會員の醸出額は、到底不足を告げるので、活動の資金を得るた

めに、之まで會員の各自が努力した事を述べざる可し。勿論現在では非常事務局下でありますので、かうした方法も改むべき點が多いのであります。以前のものを書きます。先づ第一は會員の勤勞によつて、人形——縫ひぐるみ細工——の製作をバザアに出品して、その利益金を得る可い事です。第二は社會教育を目的とした演劇の前賣券を發賣して、それによつて利益を得るので、一燈園のすわらじ劇團の來演を機に二回、又映畫館との契約による映畫觀覽券の前賣で利を得た事もあります。第三は毎年四月八日の「花祭り」の當日、津市内目貫の箇所、會員が菓子包の立賣りを行つて資金を集めます。かくして得た金額は相當多額になり、その幾分は恤兵獻金をいたしたり、陸軍病院に白衣の勇士の慰問費に充當しました。こんな譯で活動部面が社會的に知られて來るにつれて、幼児保育の大切な事なきが一般家庭に相當認識せられ、保育會の仕事に對する理解が相まつて、好結果をもたらすつてあります。幼稚園の製作にかゝるお人形やアルバムを持參して〇〇陸軍病院に白衣の勇士を慰問した時や、前述の事業に依る利益金の内で、會員各自が子供に與へる様な玩具類を夫々買調へて、ギツシリ重たい風呂敷包みを携へて、〇〇療養所を慰問した時なき、兵隊さんは眞心から喜んで下さつた事であります。

しかし今日では、かうした方法で資金を集める事も、相

當考慮しなければならぬので、更に新しい構想の許に、或は會員の廢品回收、利用更生の研究等によつて、或は勤勞實踐に依つて、活動の資金を獲る方法等を考へてゐる次第であります。

〔六〕 前述で略々私共の會の概況を盡くしました。

今後は如何なる方向に努力すべきか、如何なる態度で結ばれて行くかといふ事は、新體制下の私共として、しつかり考へねばならぬ問題であります。小學校が國民學校に變はり、その目ざすところが皇國民の鍊成にある時、我が幼稚園の保育も、根本的に反省すべき部分がありはしないでせうか。更に近時躍進的な發展を遂げつゝある託兒所の保育との協調提携といふ事も、眞剣に考へなければならぬ問題であらうと思ひます。私共の保育會に於ても、本年度の研究題目は、「國民學校と幼稚園の保育」といふ事がある一であり、「強き子供」をいふ事がその二であり、「託兒所保育と幼稚園」がその三であります。

〔七〕 以上は私共の會のさ々やかな歩みの概況であります。が、縣全體としては三重縣保育會といふのが誕生して、諸種の事業を計劃せられてゐますが、現在までには、保育の協議會を各地に於て開催せられてゐるに過ぎませぬ。しかし近き將來に於て此の縣保育會が、あらゆる縣内の保育關係團體を吸收強化せられる事と思ひます。この時こそは私共の保育會も欣然これに参加し、いや高き發展に努めたいと念願してゐる次第であります。(昭和十六・二・四日稿)